

第18回 水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会

大会要項

1. 名称 第18回 水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会
2. 主催 城西国際大学 同 スポーツ振興審議会
3. 後援 千葉県教育委員会 東金市教育委員会 山武市教育委員会
鴨川市教育委員会 千葉テレビ放送株式会社 千葉日報社（申請中）
4. 日時 平成30年12月26日（水）午前9時 開会式
5. 会場 城西国際大学スポーツ文化センター アリーナ
6. 参加資格
 - 1) 高等学校体育連盟加盟校生徒（高体連の大会出場規程に準ずる）
 - 2) 生徒は学校長又は柔道部顧問の責任において出場させ、健康上その他障害がある者は参加させないこと。
 - 3) 出場できる学年は、1・2年次在学中の生徒とする。
 - 4) 主催者が案内した高等学校。
 - 5) 以下の条件を満たした場合、合同チームでの出場を認める。
 - ①合同チームを編成しようとするそれぞれの高等学校の所属部員数が、競技要項に定めるチーム編成数に満たない場合。
 - ②それぞれが所属する高等学校長の署名・公印がある、別紙「出場承諾書」を提出できる場合。
 - ③主催者に対し、事前に合同チームの出場に関する打診を行うこと。特に本大会への案内を受けていない高等学校と合同チームを編成しようとする場合は、詳細など要連絡の上、主催者より事前の許可を得ること。
 - ④その他理由により、主催者が合同チームを認めた場合。
7. 招待枠
 - 1) 各部門の案内枠は以下のとおりとする。
 - ①男子の部 概ね50校とする。
 - ②女子の部 概ね36校とする。
 - 2) 前項の内訳として各地区における案内数を設ける。
 - ①北海道・東北地区 : 男子12校 女子10校
 - ②千葉除く関東地区 : 男子16校 女子11校
 - ③北信越・東海地区 : 男子 6校 女子 3校
 - ④近畿以西・九州地区 : 男子 6校 女子 4校
 - ⑤千葉県内 : 男子10校 女子 8校合計：男子50校 女子36校

8. 組み合わせ 1) 主催者が抽選し組み合わせを行う。
2) シード枠については、昨年度の本大会を基に決定する。
Aシード(2校): 昨年度 優勝校・準優勝校。
Bシード(2校): 昨年度 第3位の2校。
Cシード(4校): 昨年度 優秀校から振り分ける。
※上記校数に満たない場合は、主催者推薦により決定する。

9. 表彰 表彰は以下の通りとする。
- | | | | |
|-------|----------------|-------|-----|
| 優勝校 | 賞状 | 優勝杯 | 優勝盾 |
| 準優勝 | 賞状 | トロフィー | |
| 第3位 | 賞状 | トロフィー | |
| 優秀校 | 賞状 | | |
| 優秀選手賞 | 賞状(最優秀選手のみ記念品) | | |
- ※優秀校及び優秀選手賞はベスト8進出校より選出

10. 審判 審判員は主催者より委嘱された者がこれにあたる。

11. 審判・監督会議

大会当日に審判・監督会議を **8時40分**より第1試合場にて行う。

12. その他 ①出場する県外の高等学校について、宿泊を希望する高等学校については別途申込み要領を定める。
②参加する監督・引率者及び生徒については、大会期間中(移動を含む)の傷害保険に主催者で加入する。
③大会期間中の食事について、各自負担とする。

13. 問合せ 大会に関する問合せは以下の通り。

〒283-8555

千葉県東金市求名1番地

城西国際大学 スポーツ振興審議会事務局

担当: 秋本

電話 0475-55-8808 (内線1183)

FAX 0475-55-8811

Email: akimoto@jiu.ac.jp

第18回 水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会

競技要項

1. 試合方法

国際柔道連盟試合審判規定による。判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。

※僅差は「指導差が2以上」。

なお判定基準の優劣については、【一本勝（反則負）>技有>僅差】とする。

- 1) チーム編成は男女とも各校1チームとする。
- 2) 男子は監督1名、選手5名、補欠2名の計8名までとする。
- 3) 女子は監督1名、選手3名、補欠2名の計6名までとする。
- 4) オーダーは男女ともに自由配列とし、試合毎のオーダー変更を認める。
- 5) オーダー用紙は、1回戦は開会式終了後ただちに、2回戦以降は自校の対戦相手が決定してから5分以内に各試合場係員に提出する。なおオーダーに変更が無い場合でも、必ず毎試合提出すること。
- 6) 試合方式は次のとおりとする。
 - ①試合はトーナメント戦で行う。
 - ②各チーム間の試合は点取り方式で行う。
 - ③試合時間は男女とも3分。ただし準決勝より4分とする。
 - ④勝数、内容とも同点の場合、任意による代表戦により決定する。本戦で勝敗が決しない場合、時間無制限のゴールデンスコア方式により必ず勝敗を決する。
※代表戦の判定基準、実施方法は個人戦に準ずる。

2. 表彰

団体賞は、優勝・準優勝・第3位（2校）と、ベスト8進出校を表彰する。

個人賞は、最優秀選手賞を優勝校より1名、優秀選手賞をベスト8進出校より各1名を選出する。

3. その他

1) 脳震盪の対応について

本大会の参加に際し、選手及び指導者の方は下記事項を遵守願います。

- ①大会1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお至急専門医の精査を受けること。）
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

2) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症については、下記事項を遵守願います。

- ①皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。
- ②選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合、当該選手の本大会への出場を禁止する。ただし2週間以内の治癒証明がある場合は出場を認める。

- 3) その他の感染症（インフルエンザ等）について
その他の感染症については、下記事項を遵守願います。
①季節柄、インフルエンザ等の感染症罹患には各所属で十分に注意すること。
②所属内において、複数名の感染の疑いまたは感染が確認された場合は、他校への影響を考慮した対応を取ること。
- 4) 安全対策について
安全管理には万全を期していますが、万が一事故が発生した場合は、救護により応急処置を施した後、病院へ搬送しますが、それ以上の責任は負いません。また大会中は主催者側の負担により選手全員を傷害保険に加入しております。出場選手は**必ず保険証を持参して下さい。(コピー不可)**
- 5) 県外の高校で、宿泊を希望される高校は、別紙「大会に伴う宿泊について」をご参照下さい。
- 6) 大会当日のアップは本会場・サブ会場・2階道場を利用して下さい。なおサブ会場及び2階道場を使用する高校は、8時40分になりましたら、開会式整列のため本会場への移動をお願いします。本会場でのアップは8時45分までとします。
- 7) 原則として、柔道衣は「全柔連柔道衣規格に適合し、ゼッケンが付いているものを着用」とします。ただし長期遠征等において、何らかの事情でゼッケン付の柔道衣が着用出来ない場合は、監督会議の際に申告された高校（対象選手）については出場を認めます。その場合の代替柔道衣は規格適合のものに限ります。
- 8) 本大会期間中に撮影された写真または動画が、本学HP及び大会プログラム等の本学発行の紙誌、及び本学が公式登録している動画サイトに掲載される場合があります。また報道機関等の紙誌やWebサイト等に掲載される場合があります。なお申込みを頂いた各種個人情報については、上記の目的以外には使用しません。本大会への参加申込みを以て、個人情報の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応させていただきます。
- 9) 上記の件、その他ご不明な点がありましたら、下記まで連絡をお願いします。

連絡先 千葉県東金市求名（ぐみょう）1番地
城西国際大学 スポーツ振興審議会事務局 担当：秋本俊介
電 話 0475-55-8808（学生課直通）
FAX 0475-55-8811
Email: akimoto@jiu.ac.jp